

1 構成 学校評議員 4名

2 評価の内容

【教育課程】

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業等による学習の遅れの対応に苦慮された一年でなかったかと思います。この状況の中、夏休み期間の短縮、学校行事の精選、授業の工夫等で乗り切ったことは十分に評価できると思います。「どのような状況においても、生徒の学びが止まらぬように」と工夫されたことが様々な取り組みから伺えました。
- ・（修学旅行、部活動の実施など）コロナ禍の収束が見えない現状を考えると、これからの教育課程の再編は、今まで以上に重要な課題と感じました。
- ・共通テスト対策、コロナ禍対応、ICT 教育の環境整備など、課題山積が常態の渦中で、どのようにPDCAを回していたのか、より具体的な記載があればよいと思いました。
- ・インターネット環境の整備が進んだようですが、ぜひ上手く活用してください。

【学習指導】

- ・学力の二極化が進んでいることについて、1年次から様々な取り組みがなされていることは、学びの充実した多高校生活を送るという点から考えて、とても重要だと思います。学力の二極化が顕著な数学、英語は日々の予習・復習の習慣の定着がないと、学びの充実は望めません。小テストの実施、週末課題等の継続的な指導と自主的な学習の取り組みの実践に向けた指導の継続が大切だと感じました。
- ・二極化の対応として、数学、英語の習熟度別授業の実施は、学力上位層の伸長、下位層の底上げに有効な対策だと思います。先生方、生徒のアンケート結果の分析と活用を期待します。
- ・各教科ともコロナ禍の中で努力されていると思います。来年度も引き続き ICTなどをうまく活用しながら効果的な学習を進めてもらえればと思います。特に来年度多数整備されるタブレットの効果的な活用を期待しています。
- ・タブレット 220 台を上手く活用して、口頭・黒板の授業ではできない視覚面での学習指導をもっと進めてください。
- ・指導される生徒側の、学習意欲の醸成・保持や心理的安定が、例年以上に求められた年度だったと思うが、自粛期間中も開放教室を設けたのは、有効であったと思います。

【進路指導】

- ・コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの進路に関わる行事が実施できず、学校全体（特に進路指導部の先生方、三年生）にとって不安な一年だったと思います。しかし、リモートでの卒業生との交流会の実施は、有効な手段であったと思います。この取り組みが次年度にも生かされるでしょうし、他学年にも実施されるといいのではないかと思います。
- ・学年に応じて進路指導対策を効果的にされ、且つその成果が出てきていると思います。来年度もオープンキャンパスや入試説明会がリモートで開催されることも多いと思いますので、本年度の経験を踏まえ効果的に生徒が参加できるよう指導してもらえればと思います。

- ・丸亀高校は生徒の自主性を重んじる伝統はありますが、自主性は正しい知識がベースの上に成り立つものだと思いますので、その教養はしっかりとお願いします。
- ・進路指導部の「課題と改善策」に記載があるように、改善の余地が大きいのであれば、部内での処理にとどまらない全校的な知見の結集が必要であろうと思います。

【生徒指導】

- ・自転車による事故が近年注目されています。特にスマホや音楽を聴きながらの「ながら運転」は非常に危険です。交通マナーの周知徹底とともに自転車通学者には自転車保険の加入義務なども検討されてはいかがでしょうか？
- ・SNSトラブル回避を含めた情報リテラシーの向上、通信におけるマナーの徹底などについても、今後評価項目を設定してはどうでしょうか。
- ・コロナ対応があまり記入されていないようです。ワクチンが全国民に打ち終わるのも年を越しそうなので、WITH コロナの教育（正しい対応）が必要なのでは？

【特別活動】

- ・行事が大幅に削減され、生徒会活動が十分になされなかったのが残念ですが、ビデオ会議システムを使ったオンラインによる広報活動も方法かと思います。

【開かれた学校づくり】

- ・県内の学校で、ビデオ会議システムを使ったオンラインによる授業参観が実施されていることを知りました。授業参観、講演会等リモートで保護者に配信できるような取り組みも必要な時代になってきたのではないかと思います。
- ・ICT活用においては、ハード面の整備に併せて、生徒の実情にあったソフト面の充実を期待しています。

【その他全般】

- ・アンケート評価について、前例踏襲では対応しきれなかった局面が多々あったはずなので、アンケート評価も現実により即応した評価項目を特別篇という形ででも設定してもよかったのではないかと思います。
- ・今年度はコロナの影響で休校や色々な学校行事の中止により、学習はもちろん高校生の団体活動もできなく、教員の方は苦勞されていると思います。もう一年くらい影響は残ると思いますので、今年度の経験を生かして次年度より上手く運営してください。

<コロナ禍でマイナス面が多い中でも、プラス面について>

- ・ICTの活用が進んだこと…推進委員会、生徒の個別の学びがタブレット活用で進んだこと。ピンチがチャンスに次年度も生かせること。
- ・修学旅行が実施できたこと。また、実施にあたり、人権教育もあわせて行えたこと。
- ・部活動について、対外試合は制約が多かったけれども、校内では工夫して80%実施できたこと。
- ・先生方が研修会にオンラインで様々な研修に参加できたこと。
- ・家庭科では、感染症予防のため、調理実習をグループ学習でなく、個人単位での実習を行ったことで結果的には科学的根拠を生徒一人ひとりが考える機会となったこと。

(今年度は、コロナ感染症予防のため、マイナス面がもちろん多いのは仕方がないことですが、プラス面も聞かせていただいたのが印象に残りました。)